

第24回 理事会議事録

第24回理事会 議事録

1.開催日 2020年5月24日(日) 13:05~17:00

2.開催地 リモート会議(ZOOM)

3.理事 19名中18名が出席し、定足数を満たした。

(出席) 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 前田(大里)真理子 楠見耕介
愛場庸雅 瀬川 出 羽鳥和重 茅野耕治 小林 力 宮川早穂
藤本拓也 新帯 亮 島津 弘 山西哲郎 信原 靖 奥田健史

(欠席) 高橋利之

監事 尾上秀雄 齋藤和助(欠席)

オブザーバー 村越 真 谷野文史

記録 高村 卓

4.議長 定款第32条により、愛場副会長を指名した。

審議事項案

第1号議案 2019年度事業報告書

第2号議案 2019年度収支決算書

第3号議案 基本財産の一部取り崩しについて

第4号議案 理事の交代

第5号議案 スキーオリエンテーリング関係規則改訂案

第6号議案 委員会委員長の交代と委員追加案

第7号議案 オリエンテーリングオンライン動画講習会企画案

第8号議案 スイスオリエンテーリング協会への寄付送金

なお、第7号議案と第8号議案は、審議事項ではなく報告事項のため、各申請者から取り下げとなった。審議事項は第1号から第6号までとなった。

その他 総会の日程・方法の検討

第1号議案 2019年度事業報告書

事務局から事業報告書に基づいて説明後、質疑応答に入った。特に内容についての質問はなく、語句の修正が7カ所出された。

- ・[1]5項の2018年度→2019年度に。
- ・公3、競技力向上から、9頁の国際委員会から日本スポーツ振興基金助成の項目番号の修正。
- ・資料3、日本学連の事務局住所「塩谷郡」の前に栃木県を加える。
- ・(取扱に注意願います)を削除。

業務監査について、尾上監事から報告があった。

以下のような要請があった。

- ・基本財産の運用規程の整備、確認体制の強化、存在意義の再確認すること。
- ・議事録だけでなく議案書も含めた情報が閲覧できるように、理事向け情報倉庫の新設をすること。
- ・事業・予算計画の進捗の見える化を進めること。

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

第2号議案 2019年度収支決算書

事務局から収支決算書に基づいて説明。

顧問の村越氏から正味財務減少分析について説明があった。2018年度は250万円の黒字、2019年度は450万円の赤字となった。減少原因として、寄附金150万円減、物販40万円減、受取登録料36万円減。支出の増加原因として、管理費55万円増(事務局機能の強化)、事業費増、WEBサイト構築費40万円(毎年50万円づつ)、スイスOL協会への寄

附金30万円、などが挙げられた。

会計監査について、尾上監事から以下の3点の要請があった。

- ・過年度未収会費の統一的な処理方法の確立
- ・各委員会独自口座の監査の実施
- ・指定寄付金集金状況の開示(今年度より、四半期毎にホームページで)

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

なお、財務今後の進め方について大里副会長から提案された。

- ・事務局会議を2ヶ月に1回
 - ・来年度に向けての財務運営
 - ・四半期毎の決算状況の開示
 - ・寄附金の金額と用途の開示
- 等が提案された。

第3号議案 基本財産の一部取り崩しについて

事務局から、基本財産として定期預金2000万円のうち、1000万円を普通預金に切替、事業等への運用を出来るように、2017年5月の第14回理事会で承認されていたが、総会の議決を経ていなかったため、次期総会にて承認を得るため、総会審議事項として提案。WMG2021 実行委員会に500万円を前払金として払い込んだ事をうけ、会計監査から借用書がないことの指摘を受けた。実行委員会から借用書を受け取ったことを説明した。

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

第4号議案 理事の交代

事務局から、日本学連推薦理事1名の交代があり、以下のように提案、総会への審議事項とすることを提案した。なお、その年度の幹事長が学連推薦理事のうち1名になる。

退任 藤本拓也

新任 谷野文史

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

第5号議案 スキーオリエンテーリング関係規則改訂案

信原理事から、スキーオリエンテーリング関係規則改訂案の提案がされた。

- ・日本スキーオリエンテーリング大会競技規則
- ・全日本スキーオリエンテーリング選手権大会(個人競技)実施基準
- ・全日本スキーオリエンテーリング選手権大会(リレー競技)実施基準

スキーオリエンテーリング大会競技規則ではなく、Footと同様に「競技規則」ではないかと質問がでた。信原理事から、大会を開催するための規則で特に問題はないと回答した。

また、21歳年齢の区分けの語句を一部修正することになった。

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

第6号議案 委員会委員長の交代と委員追加案

強化委員会、全日本大会委員会、アスリート委員会の各委員会から提案があり、各委員会ごとについて、それぞれの審議を行った。

6-1 強化委員会 藤井理事から、委員長の交代と委員の追加を提案した。

委員長の交代 退任 寺嶋一樹

新任 稲葉英雄

委員の追加 入江 崇

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

6-2 全日本大会委員会 木村理事から、委員の追加を提案した。

山川克則、西村徳真、宮西優太郎、坂野翔哉の4名の追加が提案された。

推薦された候補者が地図作製や大会運営を業務にしていることが、助成金申請の際に障害にならないかと質問がでた。委員就任は利益相反になるので不適、という意見が出た。

付帯として、JSC(日本スポーツ振興センター)に確認することが提案された。

また、利益相反ルールに関する規程を整備することが提案された。

以上、審議の結果、信原理事、茅野理事は反対した。その他16名の理事は賛成した、賛成多数により承認された。

6-3 アスリート委員会 宮川理事から、委員の追加を提案した。

加納尚子(MTB-O)、菅谷裕志(Foot-O)、石原湧樹(Ski-O)、岩田健太郎(Trail-O)の4名の追加が提案された。

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

以上

検討事項

総会の日程、開催方法の検討

- 検討の結果、対面方式で行う事になった。新型コロナウイルスの流行などの社会状況によっては変更もある。
- 事務局にて、会場手配を行うことになった。
- 日程候補 7月26日(日)または25日(土)

報告事項

1. オリエンテーリングオンライン動画講習会企画
村越顧問から提案があり、学連と協働でJOAとして進める。
2. スイスオリエンテーリング協会への寄附送金
大里理事から提案されたが、本件は、スキーオリエンテーリングをユニバシアードに採用されるよう、スイスオリエンテーリング協会が同国開催のユニバシアードでのスキーオリエンテーリングの実施に資するため、2019年5月理事会にて承認されていた。2019年度に3回の内1回分が送金済み、2回目を2020年度の7月末までに支払うための確認報告。
3. 新型コロナウイルス感染拡大防止についての日本スポーツ協会の指針を受けて、JOAとしての指針を作成中。

以上

第24回理事会

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人
理事会議長

代表理事「副会長」 愛場庸雅

印

議事録署名人

監事 尾上秀雄

印